

メリデン版訪問家族支援!

「家族」を本人と同等の支援対象にすると、
こんな変化が生まれるんです

「メリデン版訪問家族支援」という名前を聞いたことがあるでしょうか。
これは、本人と家族とをまるごと支援する、英国発祥の技術です。

日本ではこれまで、支援の対象者はあくまで本人で、家族は本人を支えるための資源の1つ
のように捉える傾向がありました。

メリデン版訪問家族支援では、家族を利用者と同等の支援対象として位置づけ、
一家にまるごとかわっていきます。

精神障害をもつ人が家庭内にいる場合、

家族関係が家族全員にとっていいバランスで成り立っていることは少なく、
誰かしらが、あるいは全員が我慢していると感じることがよくあります。

メリデン版訪問家族支援のアプローチにより、いつも「病気」を中心に生活してきた家族が、
「健康的な暮らし」を望む家族へと変わり、家族の力が強まっていき、
支援者も驚くような変化を見せていきます。

この特集では、メリデン版訪問家族支援とはいったいどういうものなのか、
そのメソッドを教えてくださいと、
ファミリーワーカーとなってケースにかかわった方たちの、
個人的な経験や思いを教えてくださいました。